



創立五十周年 1967-2017

青森総合卸センターニュース



編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2017(平成29)年7月31日

ふるさとあおもり景観賞の 2つの部門で最優秀賞を受賞

青森県が主催する「第9回ふるさとあおもり景観賞」で、当組合が「屋外広告物部門」と「地域づくり活動部門」の2つの部門で最優秀賞を受賞した。最優秀賞の2部門同時受賞は、同賞史上初の快挙となった。6月2日(金)にアピオあおもりで行われた表彰式には西理事長が出席し、浅利県土整備部長より表彰状が贈られた。

「ふるさとあおもり景観賞」は、県内の良好な景観づくりを貢献している、まちなみ、建築物、屋外広告物及び地域づくり活動等を表彰し、青森の個性を生かした魅力ある景観形成に対する県民意識を高め、美しい景観づくりを推進することを目的に実施している。

組合では2005年を景観元年と位置づけ、積極的に団



様々な形で景観整備に取り組む問屋町

地内の景観向上に取り組んできた。景観を最大の情報発信ツールとし、V・I(ビジュアル・アイデンティティ)を重視。問屋町にこれまでなかったゲート景観を創出するため、問屋町の東口や北口、八ツ役五又路交差点に、統一されたデザインの新ゲートサインを新設等した。同サインは問屋町のイメージアップに大きな効果を発揮するとともに、一般市民に対して明るく開放的な印象を与え、問屋町のまちづくりのシンボルとなっている。また、問屋町ロゴマークをデザインした車両マーキングシールも作成し、これまで累計2,500枚超を無料配布。マーキングシールを貼った車両が青森県内を走ることで、問屋町の走る広告塔として街のイメージアップに大きく貢献している。

サイン展開と同時に、緑あふれる街並みを目指して芝桜などの花苗やハーブ等を問屋町及び第二問屋町全域に渡って計画的に植栽し、現在も植栽及びメンテナンスを継続している。他にも、ごみのないきれいな街を目指し、問屋町合同清掃を実施。同活動は今年度で16年目を迎え、4月から10月までの毎月第2木曜日の朝、組合員企業の従業員が

始業前にごみ拾いを行い、現在では年間延べ1,500名が参加する。更に、「問屋町緑のボランティア隊」の活動や清掃用具の無料貸出、花苗の種の無料配布なども行い、美しく緑や花のある街並みづくりに努めてきた。これらの取り組みが、今回の景観賞の「屋外広告物部門」と「地域づくり活動部門」の最優秀賞ダブル受賞として身を結んだ。組合では今後も景観整備を継続して推進し、問屋町のプ

青森県より健康経営事業所の認定を受ける

当組合が青森県健康経営事業所に認定され、6月6日(木)に、青森県庁で認定証が交付された。今回、県内の3事業所が同制度初認定となり、当組合のほか、組合員の(株)ヒグチも認定証の交付を受けた。

短命県返上に向け、県では、働き盛り世代の健康づくりを推進するため、従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」に取り組む県内事業所を「青森県健康経営事業所」として認定する制度を新設。認定された企業は、県入札参加資格申請時の加点や県の特別保証融資制度などの特典を受けられる。

認定を受けるには、健康宣言の実施や空気クレンジン施設、健やか力推進センター研修修了者を健康づくり担当者として設置するなどの6つ



表彰状を受け取る西理事長



認定証交付式

ランド力強化を図る。

**広告タワー並びに駐車場サイ
ン改修工事の実施と承認**
第2回理事会

6月26日(月)に第2回理事
事が開かれ、審議の結果、
全て原案どおり承認された。

また、事務局からは北日本
流通ヴァン(株)の2016年度
決算やパソコンリサイクル回
収による収益金の寄付につい
てなどを報告した。

主な案件審議は次のとおり
案件一・事業委員会からの意
見について

北口広告タワー並びに駐車
場サイン改修工事の実施や問
屋町会館アスファルト舗装工

事の実施などが承認された。
案件二・労務対策委員会から
の意見について

問屋町納涼パーティーの開
催やとんやまち健康づくり実
践塾の実施などが承認された。
案件三・環境対策委員会から
の意見について

問屋町地区側溝泥上げ作業
の実施や防犯カメラの増設な
どが承認された。

案件四・組合員の脱退及び新
規組合員の加入について
案件五・2017年度役員報
酬について

案件六・2017年度第3回
理事会の日程等について
理事会終了後には、青森問

会員企業が自社をPR
青森問屋町経営同友会

問屋町の若手経営者や後継
者らで組織される青森問屋町
経営同友会の第22回会員交流
会が6月16日(金)、ホテル
青森で開催された。

今回の交流会では、会員企
業による企業紹介を実施。(株)
ヒグチの山口常務と(有)桂工業
の桂木社長が、自社の事業内
容や取扱商品などを会員に説
明した。

その後行われた懇親会では、
ダイエツトグラランプリの
体重測定や1分スピーチなど
が行われ、親睦を深めた。

雷や電に悪戦苦闘
青友会・同友会合同ゴルフコンペ

問屋町支店長・所長連絡
会(青友会)と青森問屋町経
営同友会(同友会)の合同ゴ
ルフコンペが6月10日(土)、
夏泊ゴルフリンクスで開催さ
れた。

17回目となった今回は、両
会会員とオブザーバーを含む
29名が参加。当日は電(ひよ
う)が降り、ゴルフ場に雷が
落ちるなど大荒れの天気に見
舞われ、参加者は天候と戦い
ながら懸命にラウンドした。

プレー終了後には表彰式が
行われ、初出場初優勝を果た

屋町配送(株)の第37回定時総会
が開かれ、提出案件が全て原
案どおり承認された。

**新支部長に工藤氏(KG
アンサンブル)を選任**
青森交通安全協会問屋町支部
第44回定時総会

青森交通安全協会問屋町支
部の第44回定時総会が6月20
日(火)、問屋町会館で開催
された。

総会では、西中副支部長の
あいさつの後、来賓祝辞が行
われ、青森警察署の堀井安全
教育係長並びに青森交通安全
協会の齊藤専務理事より祝辞
が述べられた。



初優勝を飾った齊藤副支店長(右)

した(株)角弘燃料センターの齊
藤副支店長にトロフィーが贈
呈された。また、ベストグロ
ス賞は(株)青森出版の山宮副部
長が、こちらも初出場で獲得
した。

同コンペは、次回、10月14
日(土)に開催予定。

引き続き行われた議案審議
では西中副支部長が議長に選
任され、すべて原案どおり承
認された。任期満了に伴う役
員改選では、工藤氏(株)KG
アンサンブル社長を新支部
長に選任。また、副支部長に
は西中副支部長(丸文さと
う)社長が重任したほか、
大平氏(株)大平教材社社長
が新たに選ばれた。また、和
田氏(和)田田田販売(株)社長
が新役員として選任され、そ
の他の役員は留任となった。

議案審議の後「2016年
度問屋町交通安全街頭指導の
表彰」が行われ、受賞者を代
表して、サンボット(株)並びに

引き続き行われた議案審議
では西中副支部長が議長に選
任され、すべて原案どおり承
認された。任期満了に伴う役
員改選では、工藤氏(株)KG
アンサンブル社長を新支部
長に選任。また、副支部長に
は西中副支部長(丸文さと
う)社長が重任したほか、
大平氏(株)大平教材社社長
が新たに選ばれた。また、和
田氏(和)田田田販売(株)社長
が新役員として選任され、そ
の他の役員は留任となった。

総務力向上研修を開催
問屋町ビジネススクール

問屋町ビジネススクールで
は、今年度、総務力向上研修
を初開催する。研修では、多
岐にわたる総務の仕事の担当
者を、社内でのコンサルタン
ト的な人材として育成。総務
担当者がレベルアップするこ
とで、自社の課題を自社で解
決し、組織活動の活性化が図
られる。

同講座はシリーズ開催さ
れ、全8回受講すると総務士
3級として認定される(認定
機関…蓮室コンサルタンツ事
務所)。講師は、社会保険労

務士である(株)ビジネスブレ
イの佐藤社長が務める。



表彰状を手渡す工藤新支部長(右)

(株)青森カイハツセメントに、
工藤新支部長より賞状と記念
品が手渡された。

工藤氏は新支部長就任にあ
たり「問屋町の死亡事故ゼロ
記録更新に向け、皆さんのご
協力を得て、微力ながら精一
杯務める」と決意を語った。

人問力を判断できる。セミ
ナー手法による行動審査を
取り入れることを薦める。良
い人材、つまり人間力を備え
た人材を確保することが優れ
た人材政策の基本である」と
説明した。

同講座では、テーマごとの
受講も可能で、この後も、「決
算書編」「職場管理編」など
が開催予定である。

合い言葉はリサイクル!
循環型社会を目指して…
製紙原料問屋 (古紙類・機密文書他)

株式会社 伸和産業

青森中央営業所 青森市問屋町2-12-14 TEL(017)764-2755
青森西営業所 青森市油川字岡田122 TEL(017)787-3455
本社 弘前市堅田1丁目4-2 TEL(0172)35-5255

車の整備はまかせて安心

(株)問屋町カーサービス

〒030-0131 青森市問屋町一丁目13-20
電話(017)738-4505 FAX(017)738-4556

事務局 職員
人事異動のご案内

▽総務部長 張山 歌子
▽業務部長 小田切 勇治
▽業務課長 西田 一実
▽総務課長代理 成田 賀子
(6月1日付)

業務報告

…主要事項…

6月
1日▽商団連創立50周年記念式典実行委員会
2日▽県火災共済役員会
▽県ふるさととおももり景観賞受賞式
5日▽県中小企業診断協会通常総会・理事会

6日▽県健康経営認定式
▽青森法人会定時総会・講演会・会員交流親睦会
7日▽問屋町支店長・所長連絡会第10回定時総会
9日▽北日本流通ヴァン(株)第28期定時株主総会
▽第1回献血
10日▽第17回青友会・同友会合同ゴルフコンペ
12日▽第2回事業委員会
13日▽第1回集団健康診断(15日)

15日▽第3回問屋町合同清掃
▽金融審査会
16日▽県火災共済総代会
▽問屋町経営同友会第22回会員交流会
17日▽簡易郵便局業務研究会
19日▽第1回環境対策委員会
20日▽市産業振興財団理事会
20日▽安協問屋町支部第44回定時総会
21日▽第1回労務対策委員会
▽商団連通常総会
▽緑葉会総会
23日▽第1回問屋町従業員モニタリング会議
25日▽第1回問屋町緑のボランティア隊
26日▽第2回理事会
▽青森問屋町配送(株)第37回定時株主総会
▽問屋町ボルダリング教室Vol.1
28日▽第1回問屋町地区健康診断
▽プラザあおもり88総会
29日▽市高度化事業団体連絡協議会理事会・通常総会
▽三友会夕食会
30日▽東北卸商業団地連絡協議会通常総会(7月1日)

問屋町
ビジネススクール:

1日▽ビジネスマナー研修(言葉づかい編)
6日▽ビジネスマナー研修(言葉づかい編)
8日▽流通基礎講座(小売業の基礎知識編)
10日▽新入社員研修(フォロワーアツプ)
15日▽総務力向上研修(採用編)
20日▽職場におけるメンタルヘルス
22日▽流通基礎講座(マーチャントライジング編)
27日▽会計経理(仕訳編)
29日▽会計経理(仕訳編)②①

組合50年の歩み

第9回

「C・I展開とソフト事業」
〔2007年〜2016年〕

この10年、組合では、問屋町の付加価値向上に向け、「人・モノ・情報」が集まる賑わいのある「まちづくり」に積極的に取り組んだ。特にV・I(ビジュアル・アイデンティティ)を重視し、組合ロゴマークをベースにした統一デザイン展開で、「問屋町」ブランドの定着を図った。

また、人が集まり、賑わいのある町へ向けた事業の一環として、組合では様々な施設の整備も進めた。2007年には、問屋町と

第二問屋町をつなぐ八ツ役五又路交差点にセルフガソリンスタンドが完成。同スタンドは組合員の榎角弘が運営。「ドールコーヒーショップ」も併設され、多くの人を集める。スタンド向い側の荒川河川敷は、青森県の協力も得て小公園として整備。しだれ桜を植栽し、馬のトピアリーやベンチを備えるなど、地域住民にも憩いの場として親しまれる。

2011年には青森の老舗ラーメン店「らーめん はちもり」が問屋町でオープン。こちらの施設も組合が手がけた。同時期には、組合所有中古物件を改修し小口倉庫として整備。「問屋町トランクボックス」と称した同施設は、オープンから1年半ほどで全45室が満室となり、常にキャンセル待ちの状態となる

ほとどの人気となっている。ラーメン店、トランクボックスともデザインにこだわり、問屋町の新たなランドマークとしての機能も担う。

ソフト事業の大きな柱となったのが、2011年10月に開校した「問屋町ビジネススクール」。開校のきっかけは、2008年から2009年にかけて、問屋町に本社を構える地元企業5社の相次ぐ倒産。組合では、人材育成の必要性を痛感し、青森にはない、常設の企業教育研修機関を立ち上げた。同スクールでは受講者を組合員だけに限定せず、広く一般市民にも開放し、受講者数は6年間で延べ3千人を超え、青森市産業経済の振興にも寄与している。

TONYA - MACHI TRUNK BOX
問屋町トランクボックス
問屋町トランクボックス

スマホアプリで呼べます!
一番タクシー
～全車クレジットカード決済可能～
配車専用 ☎017-739-5500

おいしいお菓子づくりのお手伝い
お菓子とパンの原料専門店
(株)元木商店
本社 青森市第二問屋町三丁目2番12号 TEL 739-9061
八戸店 八戸市類家五丁目2の14 TEL 45-2755

積水ハウスグループ
積和建設のリフォーム
戸建・マンション・店舗
一般木造・鉄骨造・コンクリート造・その他
積和建設東北株式会社 青森事業所
〒030-0131 青森市問屋町1丁目13-10 TEL 017-764-3622

色とりどりの花苗を植栽
問屋町緑のボランティア隊

問屋町緑のボランティア隊が6月25日(日)、今年度1回となる活動を実施した。今回の作業は花苗の植栽。隊員は3班に分かれ、問屋町東口及び第二問屋町北口、青森中央卸売市場前歩道花壇にケイトウやマリゴールド、ラベンダー等、色とりどりの花苗1,100本を植栽した。植栽した花苗は、組合員の(株)元木商店から「問屋町の環境・景観向上に活かしてほしい」と贈られた寄付金を活用したほか、青森市(青森市地域花いっぱいまちづくり事



ボランティア隊 (東口)



ボランティア隊 (北口)



ボランティア隊 (市場)

業)からも一部支給された。当日は天候に恵まれ、参加者は額に汗を浮かべて花苗を植えていった。作業は順調に進み、予定より30分以上早く全作業が完了した。問屋町緑のボランティア隊は、問屋町の景観美化推進を図ることを目的に2006年に結成。組合員従業員らで組織され、花苗植栽のほか、街路樹下枝刈り払いなどを行う。子供でもできる簡単な作業が中心で、最近では家族での参加も多くなっている。同隊では、隊員を随時募集している。興味のある方は、卸センター事務局までお問い合わせください。(卸センター業務部 ☎73814711)。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、昨年妙見から問屋町に移転してきた(株)ブンメー青森営業所の我満所長にお話を伺った。

で生活用品販売部門が生まれ、掃除用具から家電商品まで取り扱うようになり、建築現場事務所に必要なものがすべて当社で揃えられるメリットを持ち合わせています。当社で扱う商品は信頼できる仕入先から揃え、常時1万点に及ぶ在庫をストックし、形状、材質、サイズなど多様なニーズに対して即納できる体制を整えています。



(株)ブンメー 青森営業所 所長 我満 大 氏

「移転前に比べると敷地面積が3倍に増え、保管できる在庫数も格段に増加しました。そのため、これまで以上に徹底した在庫管理を行い、お客様と欲しいものがすぐ手に入る」と言ってもらえるような営業所を目指します。移転前と変わらない8名の社員で、今後もお客様の利便性や快適性を陰で支え、時代のニーズに合った商品の提案などを行い、仕事を通じて『和と創造』の精神で地域社会に貢献して

「当社ではお客様の要望に迅速にこたえることを基本に、造る人暮らす人の力になりたいという想いで、日々の営業活動に取り組んでいます。建設資材、工具類の他にお客様の要望にこたえる中

また、多岐にわたる商品に対応して常に新しい商品知識を身につけ、メーカーの指導を受けたうえで実際に機械を動か

「移転前と比べると敷地面積が3倍に増え、保管できる在庫数も格段に増加しました。そのため、これまで以上に徹底した在庫管理を行い、お客様と欲しいものがすぐ手に入る」と言ってもらえるような営業所を目指します。移転前と変わらない8名の社員で、今後もお客様の利便性や快適性を陰で支え、時代のニーズに合った商品の提案などを行い、仕事を通じて『和と創造』の精神で地域社会に貢献して

編集後記

一面でお伝えしましたが、青森県の「第9回ふるさとあおもり景観賞」で、屋外広告物部門と、地域づくり活動部門の2部門で、最優秀賞を同時受賞することができました。これは望外の喜びです。今回の受賞は感慨深いものがあります。▼2004年に「景観ボランティア報告書」を作成して以来、「問屋町のロゴマークを始め景観事業のデザインを一手に引き受けていただいたのが、青森在住のデザイナー尾崎克典氏です。尾崎先生は、1980年には「ストラッドフォードギャラリー(カナダ)やドイツでの「日本のグラフィックデザイン展」招待出品等、海外でも評価された方でした。板柳のリンゴジュースを「りんごワーク」としてブランド化したのも先生のデザインです。問屋町ビジネススクールのロゴマークは2012年の「LOGO&MARKY in JAPAN」に掲載されました。▼組合のロゴマークをお願いしたとき、「ペイタウン尾道」「東京ベ・マルシェ」「ソシオ熊谷」などのカタカナ系をイメージしていたところ尾崎先生は、漢字の「問屋町」を言下に新しいとされました。先生はコピーセンスにも優れた方でした。▼尾崎先生は、デザインを「発信したいイメージを戦略的に操作することを狙い、視覚的な情報の全体を何らかの形で統合し、トータルデザイン」として認識、グラフィックから建築デザインまで手掛けられたトータル・デザイナーで現代アーティストでもありました。▼今回の受賞の喜びを分かち合うはずの尾崎先生は、組合50周年記念ロゴマークを最後の贈り物に、昨年11月7日に突然逝去されました。痛恨の極みです。(藤本)

ボルト/建設資材/工 具/工作機械
株式会社 **ブンメー**
青森営業所 〒030-0131 青森県青森市問屋町二丁目10-18
Tel.(017) 738-6111(代) Fax.(017) 738-3513

家庭の銀行
みちのく銀行
問屋町支店 ☎739-1100
TOM AND JERRY and all related characters and elements © & ™ Turner Entertainment Co. (s17)